



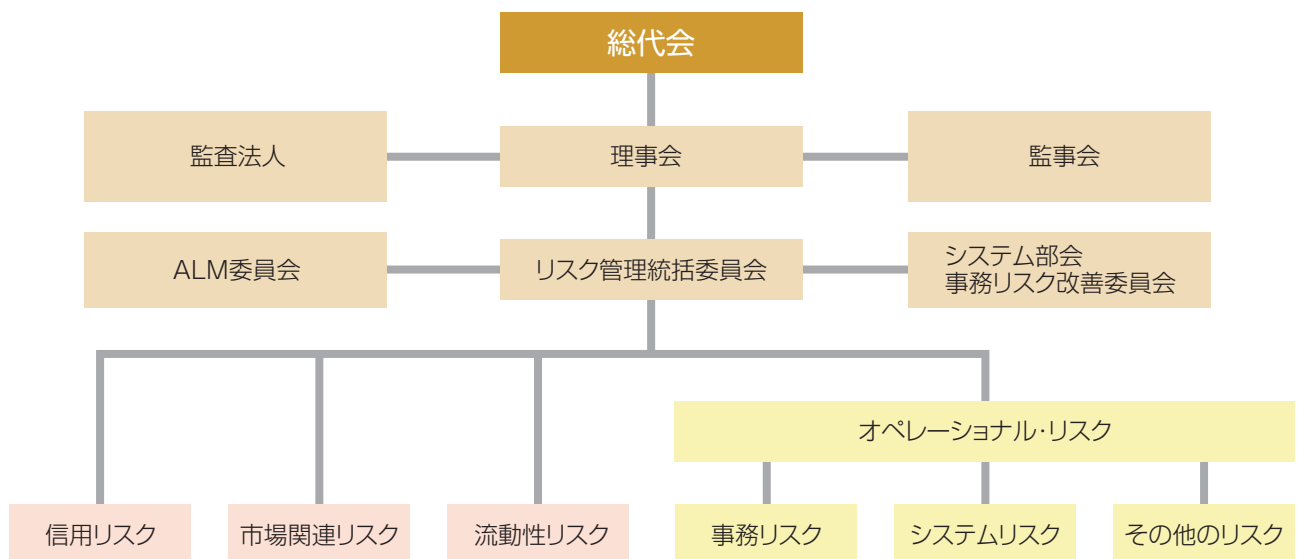
リスク管理態勢についての考え方

リスク管理態勢

現在、金融機関に求められている最も重要な課題の一つとして、リスク管理の適切な実践が挙げられます。信用金庫の経営においては、資産の健全性を確保するとともに、各種リスクの管理を行いつつ、適切な収益を上げていくことが、強く求められていると認識しております。

当金庫では、理事長を委員長とする「リスク管理統括委員会」を設置し、各種リスクを一元的に把握し、統合的なリスク管理を行うことで、金庫の健全性の確保と収益性の向上を図っております。

また、当金庫の資産・負債を総合的に管理するため「ALM委員会」を設置し、資金調達・運用の最適化および安定的な収益力の維持・向上に努めております。



信用リスク	信用リスクとは、お取引先の財務状況の悪化等により、貸出金が回収不能となり、損失を被るリスクのことです。当金庫では、貸出資産の健全性を維持するため、業務推進部門と貸出審査部門を分離し、厳格な審査態勢を取っています。また、内・外部研修やトレーニー制度を導入するなどして、貸出審査能力の向上に努めています。
市場関連リスク	市場関連リスクとは、金利や有価証券、為替などの価格が変動することにより、保有する資産の価値が減少し、損失を被るリスクのことです。当金庫では、「市場リスク管理規程」を制定のうえ、経営体力や管理能力等に見合ったリスク管理により適切な収益を確保することに努めています。
流動性リスク	流動性リスクとは、予期せぬ資金の流失などにより、必要な資金が確保できなくなったり、著しく不利な条件での取引を余儀なくされるリスクのことです。当金庫では、資金繰りの状況を適切に把握し、余裕のある資金繰り態勢を整備しています。
オペレーショナル・リスク	オペレーショナル・リスクとは、金融機関の内部管理態勢の不備や災害等の外部要因から生じる損失に係るリスクのことです。当金庫では、事務リスクとシステムリスクについては特に重要と認識し、それぞれのリスクを管理する委員会・部会を設置しています。
事務リスク	事務リスクとは、事務上のミスや不正行為により損失を被るリスクのことです。当金庫では、担当者による事務指導のほか、定期的に「事務リスク改善委員会」を開催し、事務処理能力の向上や事務ミス発生の未然防止に努めています。
システムリスク	システムリスクとは、コンピュータシステムの障害・誤作動や不正使用などにより損失を被るリスクのことです。当金庫では、システム障害時の対応規程を制定のうえ定期的に訓練を実施しています。また、「システム部会」を開催し、システムリスクについて協議・検討しています。
その他のリスク	法務リスク・人的リスク・風評リスクなどがあります。当金庫では、それぞれ担当部署を定め、適切な対応に努めています。